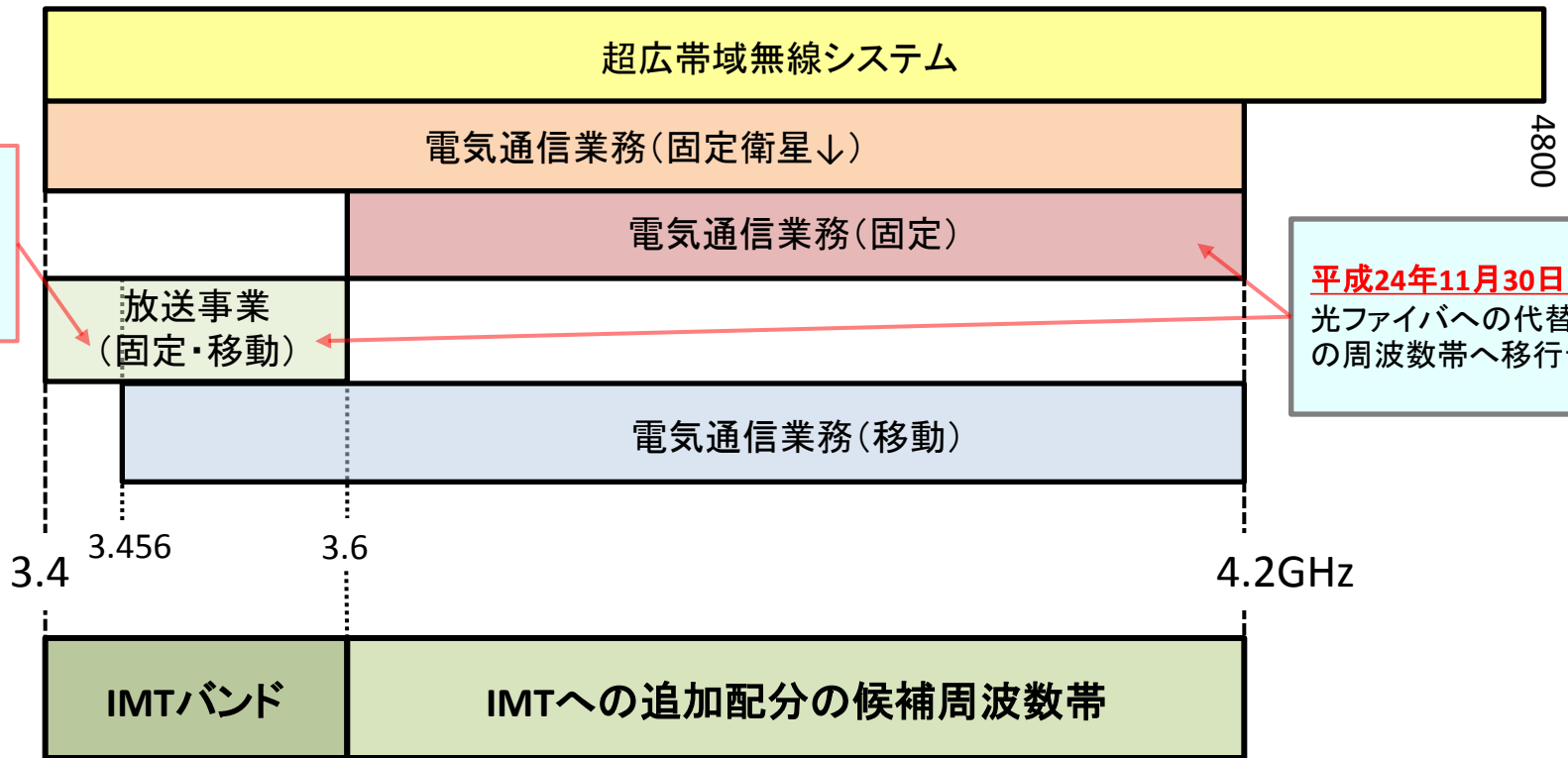


# 日本における3.4～4.2GHzの周波数の使用状況

○2007年開催のITU世界無線通信会議において、IMT(第3世代及び第4世代移動通信システム)に使用する周波数帯を特定  
→ 100か国以上の国が、3.4～3.6GHz帯を移動通信システムに使用することを表明

○2015年開催のITU世界無線通信会議(WRC-15)の新議題として、「IMT用追加周波数の特定に向けた議題」が決定  
→ IMT用周波数の追加配分に向けた国際的な検討が本格化

【日本における3.4-4.2GHz帯周波数の配置状況】



最長で平成34年11月30日までに他の周波数帯へ移行予定

平成24年11月30日までに光ファイバへの代替や他の周波数帯へ移行予定

(参考)周波数再編アクションプラン(平成23年9月改訂)抜粋  
V. 2.7～4.4GHz帯 今後取り組むべき課題  
②世界的にIMTに特定されている3.4～3.6GHz帯については、平成27年頃から第4世代移動通信システム等の移動通信システムの実用化が可能となるよう、国際標準化の動向に配慮しつつ、他システムとの共用検討の結果を踏まえ、技術的基準の検討を進める。  
③3.6～4.2GHz帯の周波数帯における第4世代移動通信システム等の移動通信システムへの割当てについて、固定衛星業務との共用に配慮しつつ、検討を進める。